

2018年9月27日

原料費調整制度に基づくガス料金の調整について(江別地区)  
(2018年11月検針分)

旭川ガス株式会社  
(小売登録番号: B0003)

当社では、本日確定した2018年6月から2018年8月の平均原料価格に基づき、2018年11月検針分のガス料金(単位料金)を、2018年10月検針分に比べ1m<sup>3</sup>あたり1.36円(税込)上方に調整させていただきこととなりましたので、お知らせいたします。

これにより、標準家庭(1ヶ月あたり11m<sup>3</sup>ご使用)への影響は、2018年10月検針分と比較して、15円の引き上げとなります。

○一般契約料金

(消費税込)

	使用量区分	基本料金 (円/月)	単位料金(円/m <sup>3</sup> )		影響額 (円/m <sup>3</sup> )
			11月	10月	
料金表A	0m <sup>3</sup> から 23m <sup>3</sup> まで	900.72	230.04	228.68	1.36
料金表B	23m <sup>3</sup> を超え134m <sup>3</sup> まで	1,285.20	213.71	212.35	1.36
料金表C	134m <sup>3</sup> を超える場合	3,164.40	199.69	198.33	1.36

(注)各月のご使用量に応じて、A~Cの各料金が適用されます。

○標準家庭における影響

(消費税込)

1ヶ月のご使用量	11月のガス料金	10月のガス料金	影響額
11m <sup>3</sup>	3,431 円	3,416 円	+15 円

(注)標準家庭のガス使用量は、平成26年度の平均使用量実績に基づき算定しています。

\*ガス料金の計算方法

$$\text{ガス料金} = \text{基本料金 (税込)} + \left( \text{単位料金 (基準単位料金(税込) + 原料費調整による調整額(税込))} \right) \times \text{使用量}$$

(円未満切り捨て)

<参考資料>

1.平均原料価格について

<平均原料価格の算出式>

$$\begin{aligned} \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均価格} \times 0.9503 + \text{プロパン平均価格} \times 0.0546 \\ &= \underline{57,170} \text{ (円/t)} \times 0.9503 + \underline{64,870} \text{ (円/t)} \times 0.0546 \\ &= \underline{57,870} \text{ (円/t)} \text{ (10円未満四捨五入)} \end{aligned}$$

■原料価格の動向

(円/t)

	2018年6月～2018年8月 (11月検針分)	2018年5月～2018年7月 (10月検針分)	基準平均原料価格
平均原料価格	57,870	56,290	58,680
LNG平均価格	57,170	55,700	
プロパン平均価格	64,870	61,560	

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ &= \underline{57,870} \text{ (円/t)} - \underline{58,680} \text{ (円/t)} \\ &= \underline{-800} \text{ (円/t)} \text{ (100円未満切捨て)} \end{aligned}$$

2.単位料金の調整について

<単位料金の算出式>

$$\begin{aligned} \text{単位料金} &= \text{基準単位料金} + \text{単位料金調整額} \\ \text{単位料金調整額} &= 0.084 \text{ (円/m}^3\text{)} \times \text{原料価格変動額} \div 100 \text{ (円/t)} \times (1+\text{消費税率}) \\ &= 0.084 \text{ (円/m}^3\text{)} \times \underline{-800} \text{ (円/t)} \div 100 \text{ (円/t)} \times 1.08 \\ &= \underline{-0.73} \text{ (円/m}^3\text{)} \text{ 小数点第3位以下の端数切上げ} \end{aligned}$$

(※)原料価格変動額100円/tにつき、1m<sup>3</sup>あたり0.084円調整します

(円/m<sup>3</sup>)

	基準単位料金	単位料金調整額	11月単位料金
料金表A	230.77	-0.73	230.04
料金表B	214.44		213.71
料金表C	200.42		199.69

(消費税込)

【原料費調整制度の概要】

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(1m<sup>3</sup>あたりの単価)を調整する制度です。
- 「基準平均原料価格(58,680円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月平均におけるLNG、プロパンの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、1m<sup>3</sup>あたり0.084円単位料金を調整いたします。
- 原料価格の変動については、LNG、プロパンとも貿易統計実績によります。
- 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が93,880円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は93,880円としてガス料金の調整を行います。